

## 工事における安全管理について

発注者 新庄河川事務所  
施工者 株式会社はながさ建設  
工事名 最上川中流河道整備工事  
発表者 現場代理人 大場 宏幸



### 1. はじめに

本工事は、北村山郡大石田町地内の最上川と丹生川との合流付近に土砂が多く堆積し、川の流れの阻害になっていることから、この土砂を掘削し、河道を整備するものであり、掘削した土砂は、既設堤防川裏側に側帯盛土として流用します。また、根固めブロック制作（3 t型N=500基）、堤防養生工として、伐木除根工（A=61,800m<sup>2</sup>）を行うものです。



### 2. 工事における安全確保

工期は、6月から1月までの8ヶ月と長く、この間自分自身のみならず、工事に従事する作業員の安全を確保しつつ工事を完成しなければなりません。本工事では作業員の安全意識の向上と継続を安全管理の最重要課題に掲げ、現場の作業内容に即した安全教育・訓練を行うよう工夫し、その実施内容について報告します。

### 3. 現場の作業内容に即した安全教育・訓練の実施

- ①伐木除根工の施工に先立ち、刈り払い機及びチェーンソーを使用することから、林業・木材製造業労働災害防止協会で行っている、「刈払機取扱作業安全衛生教育」「伐木等（大径木等）伐木造材作業安全衛生特別教育」を受講し、専門的な知識・技能を身に付けてから作業を行うようにしました。

【受講状況】



刈払機取扱作業安全衛生教育 伐木等（大径木等）伐木造材作業安全衛生特別教育

②河川内において重機機械の作業が中心になることから、油漏れ事故を未然に防ぐために重機メーカーの方から点検のポイント・使用の注意点について直接指導・教育を受け日々の点検に当たるようにしました。



4. 万が一現場で起こりえる事故を想定した安全教育・訓練の実施

①現場付近の丹生川は、アユ釣りの釣り人が多く訪れる所であり、秋には鮭が遡上しそのためにヤナが設置されます。高齢者が河川に入る場合もあり溺れる等の有事を想定して、救出・救命救助伝達訓練を行いました。

1) 救命胴衣の取扱説明



2) 救助訓練 浮き輪投げ入れ訓練



### 3) 救助訓練



### 4) 伝達訓練 (AED・救急車要請)



### 5) 心肺蘇生法の訓練



### 6) AED使用訓練



### 7) 救急車到着



- ・それぞれ通報から、AEDの到着が5分、救急車の到着が7分を要しました。
- ・救助の手順・伝達方法を確認することができました。

②河川内での油漏れ事故を想定した、オイル吸着マット・オイルキャッチャーロープ使用訓練  
 (運搬車が土砂運搬中に運搬路路肩をはずれ動けなくなりオイルが流出、けが人なし)  
 オイル吸着マット・オイルキャッチャーロープ現場搬入



## オイル吸着マット・オイルキャッチャーロープ使用訓練

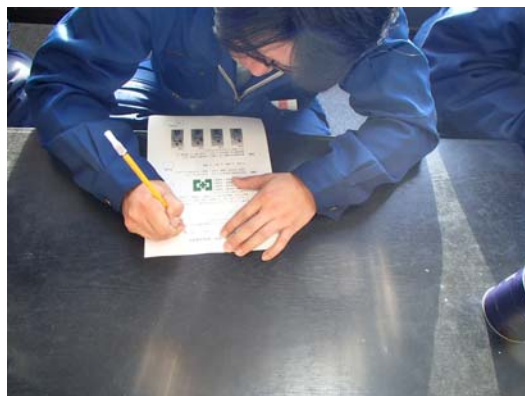


### 5. KY活動の訓練

災害事例による災害の検討として、絵を見て災害の発生状況を設定しその原因を突き止め、同じような事故が発生しないための対策をあげてもらい、また、クイズなどを行いKY活動が活発で充実したものになるように工夫して訓練を行った。

1) 絵をみて状況・原因・対策を考える

2) クイズに答える



### 6. おわりに

本工事は平成25年6月19日から平成26年1月10日の約8ヶ月の工期、7月の記録的な出水、台風が多発し雨も多く、降雪も早かったという中で施工してきましたが、この長い期間無事故でここまで来たことは本当にうれしく思います。ともすると形式ばったものになりがちな安全教育・訓練ですが実際現場に出てやってみると作業員はおもしろそうに、そして、真剣にやってくれました。出水時の対応・重機等避難場所・作業中止基準の現場への明示を行い、作業員の安全意識の向上と継続を図りました。

工期が平成26年3月28日まで延長になりまだ気の抜けない日々が残り、思えば反省点多々ありますが今後に関わり活かし現場作業員と一丸となって「安全優先」を基本として無事故、無災害を続けていきたいと思ひます。これまで施工にあたり指導して頂いた大石田出張所の皆様、本工に関わるすべての方々、地域住民も方々に感謝申し上げます。